学校番号	１１９

令和３年度　理科

教科	理科	科目	物理基礎（文系）	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	改訂　新編　物理基礎　（東京書籍）						
副教材等	ﾘﾋﾟｰﾄﾉｰﾄ物理β（浜島書店） ﾘﾋﾟｰﾄﾉｰﾄ物理γ（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業はプリントで進めますので，授業には教科書と配布されたプリントを持ってきてください。
・問題集については，定期考査前に範囲を示しますので，各自で演習を行ってください。
・定期考査は，プリントの内容からほぼ出題しますので，きちんとプリントを仕上げてください。
・「～だから，こうなるはずだ。」「こうなるのは，～だからだ。」などのように，授業を聞きながら常に「次に起こること」を想像し，「何故そうなるのか」を考えるよう心がけてください。
・興味深かった点，理解できなかった点，さらなる疑問など自分なりに感じたことをプリントに書き込んでください。そうすれば，きっと物理学を楽しめるようになるはずです。

2　学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高めます。
目的意識をもって観察,実験などを行い，物理学的に探求する能力と態度を育てます。
物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し，科学的な見方や考え方を養います。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーについて関心をもち，意欲的に探究しようとするとともに，科学的な見方や考え方を身に付けている。	物体の運動と様々なエネルギーに関する事物・現象の中に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。	物体の運動と様々なエネルギーに関する観察，実験などを行い，基本操作を習得するとともに，それらの過程や結果を的確に記録，整理し，自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	物体の運動と様々なエネルギーについて，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。
評価方法	授業に対する姿勢 授業プリント 確認テスト	授業での発問 確認テスト 定期考査	実験器具の取り扱い 実験レポート 授業プリント	実験レポート 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="4">1学期</td><td rowspan="4">運動の表し方・運動の法則</td><td>速度
加速度</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td rowspan="4">a:速さや加速度などの物理量を日常生活と関連付けながら，意欲的に学ぼうとする。
b:力がベクトル量であることを認識し，合成や分解ができる。
c:「重力加速度の測定」実験の過程や結果を的確に記録，整理している。
d:物体の運動と受ける力の関係，生じた運動における時刻と速度・変位の関係を理解している。</td><td rowspan="8">・授業に対する姿勢
・授業での発問
・実験器具の取り扱い
・実習レポート
・実験レポート
・確認テスト
・授業ノート
・定期考査</td></tr>
<tr><td>落体の運動</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td>力のはたらき
力のつりあい</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>運動の法則
摩擦を受ける運動</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="4">2学期</td><td rowspan="4">仕事・エネルギー・熱・波</td><td>仕事と運動エネルギー</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td rowspan="4">a:海の波など実際の現象と関連付けながら，波の伝わり方に関する実習に意欲的に取り組んでいる。
b:熱量保存や物質の状態変化について，熱の出入りも含めて理解している。
c:「力学的エネルギー保存則」実験の過程や結果を的確に記録，整理している。
d:仕事とエネルギー（熱も含む）の関係を理解している。</td></tr>
<tr><td>位置エネルギー
力学的エネルギー保存則</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td>熱</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>波の性質</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="4">3学期</td><td rowspan="4">音・静電気</td><td>音の性質</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td rowspan="4">a:日常の静電気現象と関連付けながら「箔検電器」実験に意欲的に取り組んでいる。
b:音の三要素について日常で聞く音と音波との対応を把握し，また音速を定量的に扱う。
c:「気柱共鳴」実験の過程や結果を的確に記録，整理している。
d:浮力の実体について説明できる。</td></tr>
<tr><td>発音体の振動と
共振・共鳴</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td>電気の性質</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>液体や気体から受ける力</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
</table>

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。